

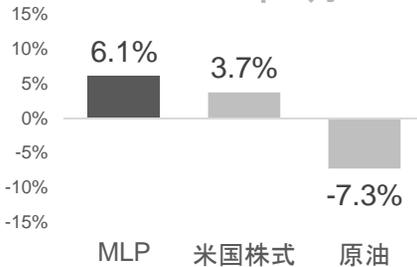
■ 当月のS&P MLP 指数の動き

9月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比▲1.3%と3か月ぶりに下落しました。

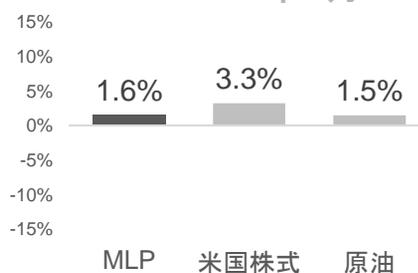
初旬は、個別材料が乏しい中、原油価格の上昇などが好感され、MLPは堅調に推移しました。しかしながら、中旬以降は、米利上げ観測などを背景に長期金利が上昇基調となる中、米10年国債利回りが3%台乗せとなったことなどが嫌気され、MLPは下落基調となりました。

■ 過去3カ月の主要指標の月次騰落率(米ドルベース、トータルリターン)

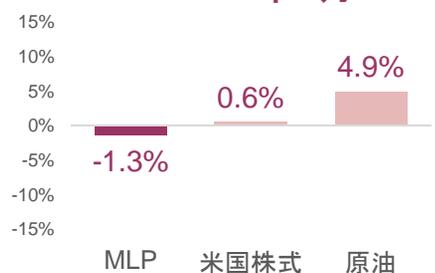
2018年7月



2018年8月



2018年9月



■ 主要指標の動き

MLP: S&P MLP 指数、米国株式: S&P 500 種指数、原油: WTI

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	2018/9/30	2018/8/31	2018/6/30	2017/12/31	前月末比	3か月前月末比	前年末比
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,924.01	4,989.53	4,628.46	4,582.12	-1.3%	6.4%	7.5%
プライスリターン	1,573.46	1,594.40	1,506.65	1,550.13	-1.3%	4.4%	1.5%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	5,763.42	5,730.80	5,350.83	5,212.76	0.6%	7.7%	10.6%
プライスリターン	2,913.98	2,901.52	2,718.37	2,673.61	0.4%	7.2%	9.0%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	993.40	968.35	987.34	924.42	2.6%	0.6%	7.5%
プライスリターン	560.91	547.58	561.54	533.41	2.4%	-0.1%	5.2%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,267.53	1,303.03	1,254.20	1,237.27	-2.7%	1.1%	2.4%
プライスリターン	311.02	321.66	310.99	313.62	-3.3%	0.0%	-0.8%
米国ハイイールド債(ICE BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,293.99	1,286.52	1,263.15	1,262.20	0.6%	2.4%	2.5%
プライスリターン	76.51	76.47	75.87	78.21	0.1%	0.8%	-2.2%
米国10年国債利回り	3.06%	2.86%	2.86%	2.40%	0.20	0.20	0.66
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり	73.25	69.80	74.15	60.42	4.9%	-1.2%	21.2%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり	3.01	2.92	2.92	2.95	3.2%	2.9%	1.9%
米ドル(対円)	113.70	111.03	110.76	112.69	2.4%	2.7%	0.9%

※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

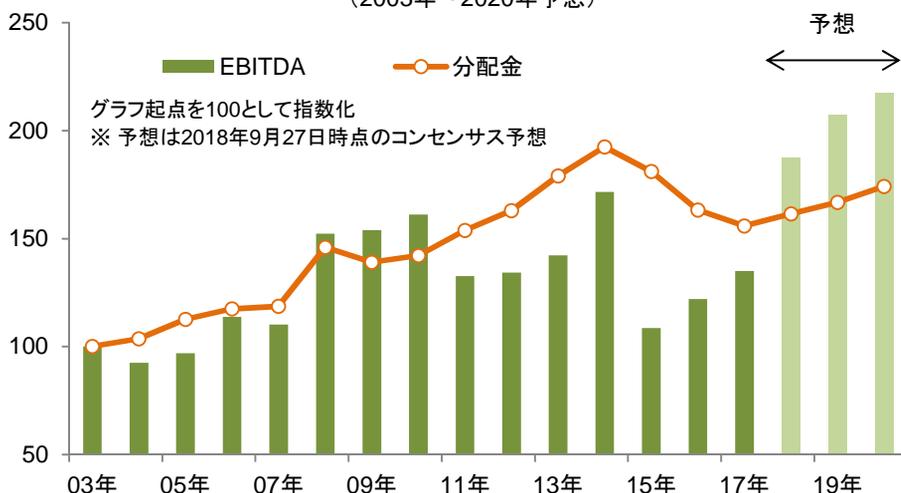
■ 当月の出来事いろいろ

- 9月18日、エネルギー会社のエンブリッジは、同社のMLP子会社であり、2018年8月末時点でS&P MLP 指数の時価総額構成比率第14位のエンブリッジ・エナジー・パートナーズ (EEP) を完全買収し、グループ構成の簡素化を図ることを発表。今年3月に公表された、米連邦エネルギー規制委員会 (FERC) の規制変更とその後の株価低迷などが背景となった。これを受け同日のEEPの株価は、前日比+3.64%と大きく上昇した。
- 原油価格は、月末にかけて上昇傾向となり、28日には1バレル=73.25米ドルをつけた。これは、①熱帯低気圧「ゴードン」が、石油施設が集中するメキシコ湾岸に接近すると伝えられ、原油の供給懸念が広がったこと、②米南東部のノースカロライナ州に大型ハリケーン「フローレンス」が接近すると伝えられ、エネルギー輸送が滞るとの懸念が広がったこと、③原油価格の短期的な上昇をサウジアラビアが容認する姿勢だと報じられたこと、④米週間統計で原油在庫が2015年2月以来の低い水準となったこと、などが背景。
- 堅調な米経済指標の発表や米利上げ観測などを受け米長期金利が上昇傾向となり、10年国債利回りは、中旬以降は3%を上回る水準で推移。MLPやREITなどの利回り資産の価格押し下げ要因となった。
- 25・26日のFOMC (米連邦公開市場委員会) において、市場予想通り、今年3回目の利上げ (0.25%ポイント) が決定された。

■ 今後の注目点

- 10月から、7-9月期の決算発表シーズンに入る。これに先立ち、MLP各社から発表される分配金の動向に市場の注目が集まる。
- 米国による対イラン制裁に関して、11月4日の制裁猶予期限に向けて供給懸念が意識されやすい展開が続くとみられ、原油価格の上昇圧力になると見込まれる。

■ MLPの利益と分配金の動向

S&P MLP 指数のEBITDA (利払前税引前償却前利益) と分配金の推移
(2003年～2020年予想)

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

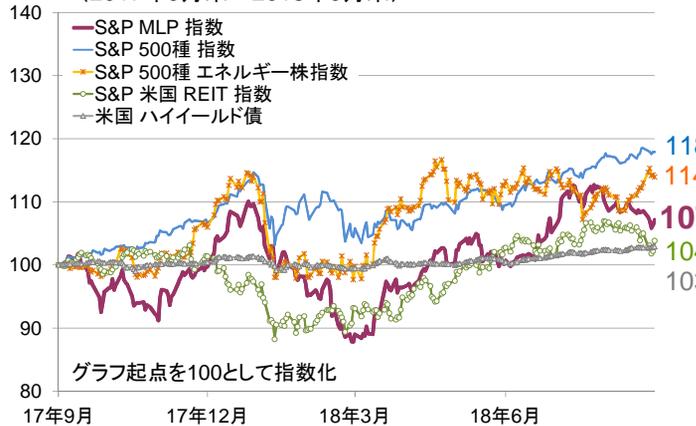
※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

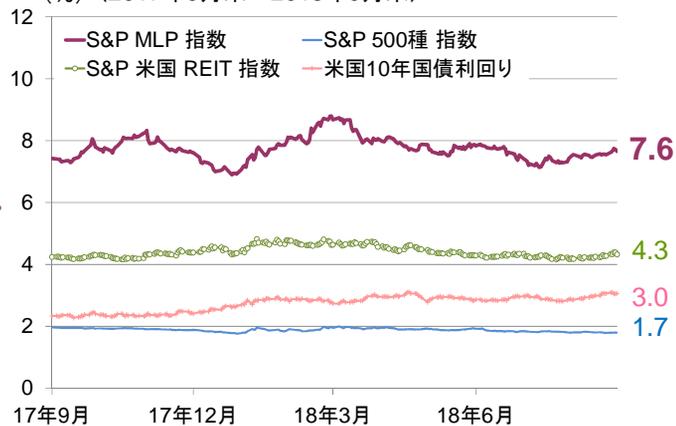
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2017年9月末～2018年9月末)



■各資産の利回り

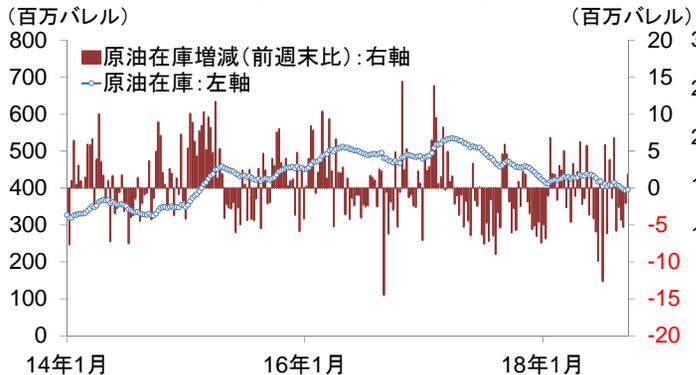
(%) (2017年9月末～2018年9月末)



※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

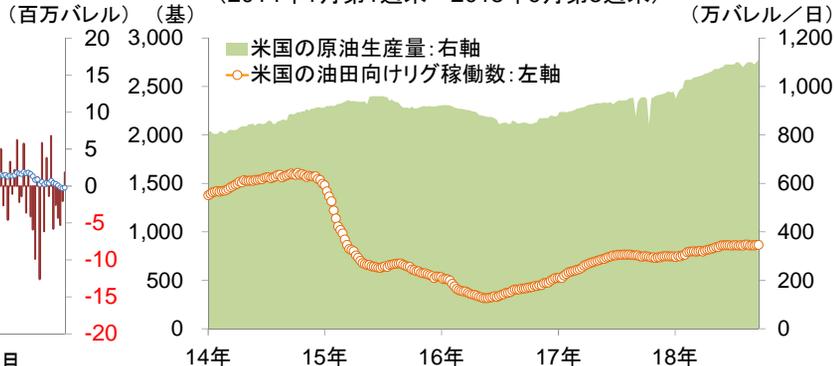
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2018年9月第3週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2018年9月第3週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給悪化懸念(改善期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給悪化懸念(改善期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2018年9月28日)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル高基調が強まる場合、割高感などにより、原油価格に押し下げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。
 (信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)